

IIII ニュース IIIII

＜表彰報告＞

野村浩司

本年度同社大学室町キャンパスの寒梅館で開催された「ISPS-6 and ITTW2015」会場において理事会が開かれ、学会員から推薦のあった二編の論文の中から論文賞選考委員会が選考した論文「微小重力環境における薄い固体試料の可燃限界モデリング」が論文賞対象論文として承認されましたので以下に報告いたします。残念ながら、本年度は学会賞および研究奨励賞への推薦が学会員からなかったため、二賞の受賞者はいないということになりました。来年度は、是非奮ってご推薦いただきますようお願いいたします。

受賞者の方々におかれましては、心よりお喜び申し上げます。

【論文賞】

- ・対象論文：【身近な宇宙，落下等による微小重力実験】微小重力環境における薄い固体試料の可燃限界モデリング
- ・掲載誌：日本マイクロ重力応用学会誌，Vol.31, No.4 (2014), pp.179-185

- ・著者：高橋周平（岐阜大学・工学部），坪井寛（岐阜大学・工学部），井原禎貴（岐阜大学・工学部），Subrata Bhattacharjee（Dep. of Mechanical Eng., San Diego State Univ.）

・受賞理由：

熱的に薄い固体を燃え広がる火炎に及ぼす対向流速と酸素濃度の影響に関する基礎研究である。無次元数を導入して現象のモデル化を行い、地上実験および短時間微小重力実験の結果で検証することによりモデルの改善が行われている。落下塔や航空機を用いた微小重力実験はともすれば予備実験で終わり、成果が論文レベルできちんと纏められることは少なかった。本論文を契機として、落下塔や航空機が非常に有用な手段であることが JASMA 会員に伝わることを期待したい。論文は定量的検討がしっかりとなされており、優れている。宇宙火災に関する貴重な知見が得られており完成度が高い。

日本大学 生産工学部 機械工学科 (e-mail:nomura.hiroshi@nihon-u.ac.jp)